



令和5年度が始まり、5月には新型コロナウイルス感染症の5類への移行が決定されました。様々な行事が、昨年度までの制限された開催ではなく、コロナ禍以前の形に戻っていくと聞き、喜ばしく思っています。まずはおおいそ学園としては最初の行事となる関東少年野球大会に向け、子どもたちは日々練習に励んでいます。その中で、技術の向上だけではなく、挨拶や礼儀についても学んでいきます。大きな声を出し、真っ黒になって取り組む姿は清々しいものです。野球の経験があっても、なくても、一生懸命に取り組む子どもたちを、精一杯応援したいと思います。

『Chance Challenge Change』は、分校のスローガンとして、平成25年に掲げられて以来、そのわかりやすさから長く根付いているものです。学園に入所し、分校に通うことを、自分自身が変わる「Chance」ととらえ、過去を脱却して新たな自分を創り出すために様々なことに「Challenge」し、退所する頃にはたくさん成長して「Change」している姿を見てもらおう、そんな願いが込められています。

クラブ活動もそうですが、学園に入所した子どもたちは、「Challenge」をたくさんしてい

きます。寮生活を送る中で、規則正しい生活をし、朝マラソンで基礎体力をつけ、自室の整理や洗濯など、自分の身の回りのことは自分でしています。また、分校で授業を受け、その成果を発揮するべく、漢字検定や英語検定にもたくさんの子供が挑戦しています。常に複数の教員がいることで、わからないことも質問しやすい環境であること、そして何より子どもたち一人一人が、「わかりたい」「できるようにになりたい」という気持ちを強くもっているからだと思います。

学園と分校とが両輪となって支援していくことで、子どもたちがより多くのことを身につけ、心も身体も、入所時よりも大きく成長していくことを願っています。今後とも、皆様のご支援、ご協力をよろしく願いいたします。



生沢分校通信

■国府小学校生沢分校 山口 友紀子 校長

4月の始業式では、「世界に一つだけの花」という歌から、この「花」の意味とは、誰一人として同じものがない「良さ」や「強み」であること、ここには「花」を咲かせる場面が年間を通して沢山あること、そして、ぜひ自分にしかない「花」を咲かせてほしいと話しました。また「花束」とは、いろいろな花が集まって見事に咲き誇ることから、今一緒にいる仲間とさらに素敵な「花束」になってほしい、先生たちは水や養分、そして たっぷりの暖かい光を注ぐので、根っこから多くのものを吸収してほしいとも話しました。

朝礼講話でも、キング牧師の「I have a dream.」の演説の話から、大磯町の教育大綱にあるとおり「わくわく」しながら将来の夢を探してほしいと伝えました。どんな夢が見つかるか、楽しみです。

今年度も連携・協力を大切に、よろしくお願

■国府中学校生沢分校 野口 裕美 校長

生沢分校の子どもたちは、スポーツや規則正しい生活をして体を鍛え、仲間と協力して活動し、勉強にも取り組んでいます。また、花や野菜を育て、あいさつなどの基本的な生活習慣もしっかりしながら毎日を過ごしています。

さまざまな事情を抱えていても、今、ここにいるからこそできること、ここに来たからこそ会えた人に感謝しながら、前向きなマインドで光に向かって歩いていくことで、自分のことも、人のことも、大切にできる人に成長してほしいと思っています。

これからも、保護者や地域、関係諸機関等と連携しながら、子どもたちの幸せを願い、成長を見守りながら支援してまいります。

どうぞよろしくお願ひいたします。

着任の先生方の挨拶

■中学部 清水 基 先生

本年度より赴任してきました清水基です。教科は理科を担当します。身近な自然現象や、科学的思考を実験的に取り組み、一緒に勉強して行きたいと思ひます。

なかなかやれない実験なども実施して、児童生徒の「なぜ？」を大切にしていきたいと思ひます。

よろしくお願ひ致します。

■中学部 松本 裕貴 先生

本年度より赴任してきました松本裕貴です。教科は英語を担当します。英語という普段日常では話さない言語を学ぶ中で、自分自身や一緒に過ごす仲間の新しい面を発見したり、より関係が深まったりするきっかけになるような学びができるよう一緒に勉強していきたいと思ひています。

“Every adventure requires a first step.”
様々なことに、生徒たちと挑戦する分校生活にしたいと思ひます。よろしくお願ひします。

お世話になった先生方、ありがとうございました

■櫻井 英明 教頭

■大竹 敦史 先生（理科）

■細川 哲平 先生（英語）

■宮崎 楓 先生（音楽）



～おおいそ学園 新任職員の挨拶～

■副園長 成田 麻紀

一昨年まで、分校職員として勤務しておりましたが、副園長という違った立場でまたお世話になることになりました。子どもたちの元気な挨拶の声に、日々、元気をもらっています。

子どもたちが安心して生活を送れるよう、また一つでも多くの経験を積んでいけるよう、支援していきたいと思えます。

■自立支援課 竹寮寮長 澁谷 隆治

これまで、おおいそ学園とは関係機関として関わってきましたが、学園での勤務は初めてになります。よろしくお願いします。

学園の広大な自然に囲まれ、食事も大変美味しく、今後も充実して関わっていければと思っています。時には二宮駅まで歩いて帰宅してみたりしています。

■自立支援課 地域支援グループリーダー 友田 薫

この度、11年ぶりにおおいそ学園に戻ってまいりました。以前の寮勤務とは違い、子どもたちと一緒に過ごす時間は少なくなってしまうのですが、子どもたち一人一人が、退所後安心して生活できることを目指し、役立てるように、一緒に取り組んでいきたいと思っています。よろしくお願いします。

■自立支援課 桂寮 井田 美桂

本年度より新採用として採用され、4月3日の辞令交付式にて初めておおいそ学園に配属がわかりました。期待と緊張を持って学園まで来た日がまだ鮮明に思い出されます。

まだ、わからない事ばかりですが子どもたちと一緒に生活する中で多くを学び合っていけたらと思います。よろしくお願いします。

■自立支援課 桂寮 山岸 岳

おおいそ学園では、子どもたちと一緒に部活動や農作業などを通じて汗をかき、食堂の美味しいご飯をたくさん食べて共に成長していきたいと思っています。

子どもたちの話を聞くのが好きなので、色々な話をしていけたらなと思っています。よろしくお願いします。

■自立支援課 竹寮 小倉 博人

はじめまして。4月より竹寮夜間指導員として働くことになりました小倉です。まだまだ初めての部分が多く、至らないこともあるかと思いますが、目の前の仕事ひとつひとつ真剣に取り組み、早く仕事を覚えていきたいと思っています。精一杯頑張りますのでよろしくお願いします。

■自立支援課 梅寮 岩澤 裕文

自然に恵まれたおおいそ学園での生活は、私がこれまでしてきた仕事とは全く違うこともあり、多くの発見や学びの機会があると思います。

すでにたくさんのお話を子どもたちからも教わっており感謝ばかりの毎日ですが、次のステップに向けて背中を押してあげられるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。

■自立支援課 地域支援グループ 児玉 貴子

4月から心理職として勤務しています。子どもたちの言葉を丁寧に聴くことを大切にしながら日々過ごしていきたいと思っています。趣味はまだまだ練習が要りますがリフレクソロジーです。未熟者ですがご指導いただきますようどうぞよろしくお願いします。

■自立支援課 地域支援グループ 高橋 伸枝

皆さんより1ヶ月遅れて5/1から家族支援員として勤務しています。本号が発行される頃はまだわからないことだらけだと思います。県の施設は初めてということもあり、慣れないことが多いです。皆さんいろいろ教えてください。

出勤初日に甘夏ミカンの花の香りに足が止まりました。これから四季折々の植物の色や匂いを楽しみたいと思っています。



子どもたちと一緒に生活します

各寮レポート～寮長だより～

桂寮 二馬寮長

桂寮は4月から新たに6名(中3が3名、中2が2名、小5が1名)でのスタートとなりました。人数が大幅に減ったので、皆で同じウイングで生活していますが、時には喧嘩、時には楽しく、賑やかに過ごしています。寮の雰囲気も変わり、先輩達のように皆を引っ張っていけるか不安を抱える上級生の姿も見られます。新たな職員を2名迎え、今年度も子どもたちが自身の課題を解決できるよう、見守っていききたいと思います。

竹寮 澁谷寮長

令和5年度は、中学3年生が3名、中学2年、新中学1年、小学6年それぞれ1名ずつの計6名でスタートしています。

職員は私、寮長のみの変更ですので、子どもたちに大きな戸惑いや混乱はみられず、寮運営、子どもへの支援はスムーズに継続できています。

今年度も、子どもたちには色々なことにチャレンジし、自信をつけて成長していければと思っています。

梅寮 石原寮長

穏やかな日差しの中、寮前でキャッチボールやバスケットを楽しむ声が聞こえてきます。高等部を抱える今年の梅寮は中学2年1名、3年2名、高等部生4名の7名でスタートしました。職員は梅寮一筋で7年勤務されていた方が、異動されました。子どもたちも職員とたくさん話をして自分を見つめる時間をつくっています。高等部生も自分の将来をよく考えて大人への一步を踏み出せるように後押ししていきます。

異動・退職された職員の方々

■副園長 櫻井 英明

■桂寮 古川 聡一郎
松田 葉月

■竹寮 田代 充生 寮長
河野 義貴

■梅寮 道場 尚文

■地域支援グループ

星 貴久 グループリーダー
久松 美稀
紙本 祥子

■管理課 都田 光彦 副主幹



編集後記 新型コロナウイルス感染症の5類への移行に伴い、学園行事が平時に戻っていく中で、様々な活動に元気に取り組む子どもたちの姿をお伝えできればと思います。

広報委員会